別紙様式

不祥事根絶のための行動計画

世 羅 町 立 世 羅 西 中 学 校
作成責任者　校長　今田　富士男

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

１「私たちは，生徒の模範となる行動をします」
２「私たちは，子どもたちが安心して過ごせる学校をつくります」
３「私たちは，教育者たる自覚を持って行動します」

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○不祥事防止に向けての服務研修は計画的に実施しているが，実施に当たっては管理職が中心となって進めている。 ○机上や棚などの書類等の整理整頓ができていない。	○教職員が中心で進める服務研修内容の立案・実施をする。 ○「机の上を常に整理整頓する」など，形から全教職員の意識を高めて実行可能なことを徹底する。	○学期に１回，学年ごとに服務研修内容を立案・実施する。 ○「個人情報の管理」を再度徹底するとともに，毎週水曜日には，職務環境改善のために，机上や棚などの整理整頓を行う。	○学期終了１ヶ月前，実施状況を点検する。 ○不祥事防止委員会において，月に１回，点検・評価する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○業務が，教職員個人まかせになりがちであり，共同して進めていく機会が少なくなっている。	○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し，組織的にチェックや業務ができるようにする。	○学年会や各委員会等で互いの仕事の進捗状況を確認し，特定の者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。	○不祥事防止委員会で，月に２回情報交換を行い，状況を把握する。
相談体制の充実	○業務に追われ，職務遂行上の課題等を相談しにくいことがある。 ○「体罰，セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知が年度当初のみであり，認知度が低い。	○課題について気軽に相談できるようにする。 ○「体罰，セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い，相談しやすい体制をつくる。	○職員がスクールカウンセラーと面談する機会を設ける。 ○学校だよりの行事予定に，毎回，「体罰，セクシュアル・ハラスメント相談日」を明記して，保護者に周知徹底を図る。	○学期に１回 ○学期末アンケートに，相談窓口の認知度についてのアンケート項目を入れる。